

## = 支援姿勢 =

### ① 怒らない(声をあげない), 注意しない工夫

利用者が楽しく活動できる、支援者も楽しく利用者と一緒に活動に参加できるように心がけましょう。

入居者が帰ってきて“ほっ”と出来る、支援者も入居者と一緒にくつろげるように心がけましょう。

過剰に褒められるより、ふつうに注意されない一日にしましょう。

その注意、支援者のこだわりではないですか。

今日一日、絶対に怒らない(声をあげない)、注意しない(きちんと伝える)、そう心に決めて過ごすことも大事ではないでしょうか。

### ② 伝える工夫

伝えるための努力を怠らないようにしましょう。

伝えるということは言葉や気持ちをただ、相手に渡すだけでなく、相手がそれを受け止めて、それに答えて初めて成されるものです。

伝わる工夫をしましょう。 いつまでも、何回でも、その工夫をしましょう。

### ③ ルールにとらわれすぎない

細かいことにこだわりすぎていませんか？

支援者がこだわっていることと利用者や入居者がこだわっていることは根本的に違うということを理解しましょう。

支援者が作ったルールや役割が本当に必要なことなのかも一度見直して下さい。

今まで注意していたことも視点を裏返すと良い評価に変わります。

もう一度、自分の支援をふりかえってみましょう。

